



ウインター・チャレンジ・キャンプ

昨年 12 月 13、20 の両日、市役所で、小学 5、6 年生の希望者を対象に「ウインター・チャレンジ・キャンプ」を開催しました。

第 1 回は 15 人、第 2 回は 18 人が参加しました。算数の苦手とされる分野や中学入試レベルの国語の問題、英語のリスニングに挑戦しました。中学校の学習へ向けて意欲を高めた子どもたちの姿が見られました。



地域活性化起業人の福士さんが着任

市が観光振興のために募集していた地域活性化起業人に、東京都の株式会社 BeFree から派遣応募があり昨年 12 月 12 日、同社の福士航さんを採用・委嘱しました。

地域活性化起業人は、総務省が支援して進める都市圏から地方圏へ人の流れを創出する制度で、市では初めての採用・委嘱となります。最長 3 年間、今まで培ってきた民間企業のノウハウを随所に発揮して、市の観光活性化に取り組みます。



遠藤さん、佐藤さんが文部科学大臣表彰

文部科学省は毎年、学校保健および学校安全分野において顕著な功績のある方を表彰しており、7 年度は学校医として長年、功績のある遠藤正達氏（遠藤医院：船引町、写真左）と、学校歯科医として長年、功績のある佐藤賢次郎氏（佐藤歯科医院：船引町）が受賞しました。

昨年 12 月 9、10 の両日、市役所で、2 人へ賞状の伝達を行いました。受賞者は「引き続き学校保健衛生において尽力したい」と話しました。



田村の方言よもやま話お披露目会

昨年 12 月 6 日、都路町の福島復興風力合同会社で、「田村の方言よもやま話」のお披露目会が開催されました。

都路民話の会が 7 年度文化庁委託事業で、冊子 200 部、音声 CD 200 部を作成しました。田村地方の方言で、生活史や東日本大震災での避難生活などを掲載しました。冊子や CD は、市内の図書館、地域の団体に配布を予定しています。お披露目会では、方言での民話、葛尾村との交流として人形劇を披露しました。



台湾で初の観光PR「日本東北遊楽日」への出展

昨年 12 月 5 日～7 日、台湾の台北市で開催された東北地方の観光誘客に特化したイベント「日本東北遊楽日」に初出展しました。5 日は台湾の旅行会社との商談会、6、7 の両日は誘客イベントに参加し、市の観光地へのアクセス方法やモデルコースを案内しました。誘客イベントには 2 日間で 10 万人を超える来場があり、市公式キャラクターの「カブトン」も現地で直接 PR を行い、記念撮影にも応じて会場を盛り上げました。



磐越東線風っこ列車たび

昨年 11 月 16 日、JR 磐越東線を団体臨時列車「風っこ号」が運行し、県内外から 62 人が乗車しました。

参加者は、田村の極を使用した特製おつまみ弁当とホップジャンプのクラフトビール、玄葉本店の日本酒あぶくまを味わいました。このほか、あぶくま太鼓紅組による演舞や地元産品の物販など、田村市の魅力を感じ、郡山駅からいわき駅間の列車旅を満喫しました。

TAMURA HOT NEWS

～田村市の楽しいがたくさん～

たむらほっとニュース・2月号



市学力向上ラウンドテーブル

昨年 12 月 19 日、船引小学校で、市内の小・中学校、こども園・幼稚園教職員および市職員、船引高校教職員、PTA 会長等が参加し、学力向上をキーワードとしたラウンドテーブルを開催しました。

1 グループ 5 人で、教職員は日頃の授業実践や取り組みを発表。市職員等は教育について考えていることや教職員の発表への感想等を述べました。各教室で市や県の事業に取り組んでいる教職員の代表発表を聞く時間もあり、充実した会となりました。



中央公民館事業「そば打ち体験教室」

昨年 12 月 14 日、手打ちそばときわ会の方々を講師に迎え、中央公民館事業「そば打ち体験教室」を開催し、市民 12 人が参加しました。参加者は自宅にある身近な道具を使用したそばの打ち方を学習したほか、水加減や力の入れ方に苦戦しながらもそば打ちを楽しんでいました。

参加者からは「非常に難しかったが奥が深く、勉強になった」「今回の体験を機に自宅でも挑戦したい」と自分で打ったそばの出来栄に満足した様子でした。



Heart to Heart

昨年 12 月 14 日、常葉公民館で市国際交流協会イベント「Heart to Heart」が開催され、約 100 人が参加しました。

日本語クラス参加者のスピーチをはじめ、インドネシア実習生によるダンス、ゴスペル教室参加者の歌など、多彩なパフォーマンスが繰り広げられました。参加者は、けんちん汁やもちを味わいながら、世代や国籍を超えた交流を図りました。



都路町行政区対抗インディアカ大会

昨年 12 月 7 日、都路町スポーツ振興会主催の第 16 回都路町行政区対抗インディアカ大会が、市古道体育館で開催されました。

年齢不問の 1 部に 14 チーム、男性 45 歳以上の 2 部に 5 チームの合計 19 チームが出場しました。
▽ 1 部 ① 3 区 M (第 3 行政区) ② 3 区 L L (第 3 行政区) ③ セブン A (第 7 行政区) 10 区 A (第 10 行政区) ▽ 2 部 (男性 45 歳以上、女性年齢不問) ① セブン C (第 7 行政区) ② TOYA-Z (第 8 行政区) ③ 10 区 C (第 10 行政区)



第 3 回女性学級ヨガ教室

昨年 12 月 6 日、中央公民館で、健康ヨガ教室の鎌田真理さんと志賀英子さんを講師に迎え、ヨガ教室を開催しました。

参加者は、ダンスやボール投げゲームで体を動かした後、普段の自分の歩き方を確認し、歩き方を変えることを体感していました。参加者からは「とても楽しかった」という声がたくさん聞かれました。



東大で学ぼう～東京大学見学・体験学習～

市教育委員会が進める学力向上支援策「東大 10 人構想」の一環として、昨年 12 月 6 日、本年度の市教育委員会主催事業で成果を収めた小中学生や将来、難関大学を目指す中学生あわせて 21 人が、東京大学を訪問しました。

大学では、高橋嘉夫同大教授から、研究されている内容や、基礎を学ぶことの重要性に関する特別講義を受講しました。講義後は、現役東大生の話を聞き、帰りには国立科学博物館に立ち寄り、学びを深めました。